

彩雲

通巻139号

【卒業式～58名が巣立つ～】

3月1日（日）、総合学科第27回卒業証書授与式が挙行政され、27期生58名が次のステージに踏み出しました。太田玲亜さんが素晴らしい答辞を述べられましたので、抜粋した内容を以下に掲載します。

やわらかな日差しに春の訪れを感じる今日、私たち卒業生のためにこのような素晴らしい卒業式を挙行政していただき、心より感謝申し上げます。また、ご臨席くださいました来賓の皆様、先生方、保護者の皆様、在校生の皆さん、本当にありがとうございます。私たち五十八名は、皆様からの温かいお言葉を胸に、本日清水高校を卒業いたします。

三年前、不安と期待を抱えてこの学校の門をくぐりました。中学校時代は新型コロナウイルスの影響で行事が中止や縮小となり、「当たり前の学校生活」とは何かを考えながらのスタートでした。しかし、少しずつ日常が戻り、行事に取り組み、校歌を歌えるようになった日々は、私たちにとって失われた時間を取り戻すような特別な三年間となりました。

スポーツフェスティバルでは、先輩についていくことに必死だった一年次、学年全体で力を合わせ三年生に勝つことができた二年次、そして後輩の目標として全力を尽くした三年次と、学年の成長を実感する場となりました。学校祭では、準備期間そのものが大切な思い出です。仲間と支え合いながら、年を追うごとに完成度を高めていきました。合唱祭では、クラス同士が良きライバルとして刺激し合い、三年間の集大成となる歌声を届けることができました。

また、部活動や生徒会活動を通して、挑戦する勇気や仲間と向き合う大切さを学びました。清水高校は、ただ知識を身につける場所ではなく、一人一人の「やりたい」という思いを受け止め、背中を押してくれる場所でした。私たちは互いに支え合いながら、それぞれの形で成長してきたのだと思います。

このように成長できたのは、私たちを信じ続けてくださった先生方、そしてどんな時も支えてくださった保護者の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。在校生の皆さんも、自分の「やりたい」という気持ちを大切にしながら、一日一日を大切に過ごしてください。

私たち卒業生は、これからそれぞれの道へと進みます。困難に直面することがあっても、清水高校で得た経験とつながり、そして挑戦してきた自分自身を信じて歩いていきます。皆様のご健勝と清水高校のさらなる発展をお祈りし、答辞といたします。

令和八年 三月一日 卒業生代表 三年A組 太田玲亜



【合唱祭～3年A組が金賞、3年次が第九賞～】

昨年の12月5日（金）、清水町文化センターにて第40回合唱祭が開催されました。生徒たちは年次ごとに第九を合唱し、クラスごとに自由曲を披露しました。結果は以下の通りです。

金賞：3年A組 銀賞：3年B組 銅賞：2年B組 第九賞：3年次

また、金賞の3年A組を代表して田中君と第九賞の3年次を代表して宮本君にコメントをもらいました。

3年A組 田中 麻也

今回の合唱祭は、1週間前にA組の主戦力である岡田君がインフルエンザに罹患してしまうというトラブルが起きてしまいました。最初こそ焦っていたものの、「岡田君がいなくても金賞をとれるぞ」と言わんばかりのやる気であふれていました。当日、岡田君が来てからは、元々良かった合唱が何倍にも良くなり、これは金賞を獲れると確信しました。

結果は、無事金賞を獲ることが出来、喜びと言うより安心感が強かったです。本当に3Aは最強で最高!!

3年A組 宮本 康希

私の人生の中で、今年度が最後の合唱祭でした。昨年度は、2年B組が学級閉鎖となり、年次合唱が行えない状況でしたが、今年度は初の年次合唱となり、迫力あるものになったと思います。

練習期間では2回しか合奏が出来ず、大人数なので、並び順やパート分けに大変苦勞しました。

何度も合奏録画を確認し、十分ではない所を繰り返し練習した結果、第九賞を獲得しました。

今年度で卒業なので、とても良い経験になりました。来年度以降も永遠に、北海道清水町を代表する「歓喜の歌」を継続していけることを願っています。



<今後の予定>

【4月】

1日（水）学年始休業（～7日）

8日（水）着任式・始業式 入学式

9日（木）対面式

13日（月）各種委員会

14日（火）尿検査①

17日（金）身体測定

18日（日）3年次看護模試・公務員模試

24日（金）尿検査②

25日（土）授業参観・PTA総会

（振替休日は5月1日（金））

29日（水）昭和の日